

第5部 ソフトウェア・プロセス

ここでは、ソフトウェア・プロセスを単純に「ソフトウェアを作るための作業」と捉え、その集合が「ソフトウェアを作る手順」を構成すると考える。

その最初の章である第12章では、ソフトウェアを作るためにどのような作業が必要なのかについて、ISO/IEC 12207:2008という国際規格に基づいて話を進める。

次の第13章では、第12章で述べた作業をどの順序で、どのように組み合わせることで、実際のソフトウェア作りが行われるのかについて述べる。

そして第14章では、最近注目を集めているアジャイル・ソフトウェア開発について取り上げてみたい。アジャイル・ソフトウェア開発は、ソフトウェアを作るに当たっての考え方、つまりソフトウェア・プロセスの1つの形であると、私は考えている。ここではそのアジャイル・ソフトウェア開発に加えて、「チーフ・プログラマ・チーム」から始まって「エクストリーム・プログラミング」に至るいくつかの「簡便なソフトウェアの開発方法」について、議論してみたい。

まずは、ソフトウェアを作るために必要な作業についての話である。

